

「ドンドン語ろう！ in北部」(平成29年5月30日 北部まちづくりセンター(北部公民館)大会議室) 意見交換内容 参加者:42名

No	ご意見	回答	局	担当課
1	(1)国道3号の整備について ・西環状道路池上ICまでの早期完成をお願いしたい、それと事業進捗率と完成時期が分かれば教えてほしい。整備が完成すれば、渋滞状況が改善され、北部地区の発展に貢献するものと期待している。 ・西環状道路と九州縦貫道路をジャンクションでつなぎ、下硯川インターから九州縦貫道路までの区間をまず調査区間から取り組み、その後整備区間までの早めの取り組みと予算の確保をお願いしたい。 ・国道3号植木バイパスについて芦北出水道路の予算が66億、九州横断自動車道の延岡線が矢部までの区間で69億ついている。こちらは1割程度の予算しかついていないのであげてほしい。	【市長】 要望に関しては対応したい。道路に関して北部の方は不満が多いと思う。国道3号は日常的に渋滞が発生しており、これは北部地域だけの問題ではなく、他の地域の問題でもある。植木バイパスや熊本環状道路の期成会の会長なので何度も国にお願いしている、できるだけ早く整備が完了するように努めていきたい。 道路によって予算の付き方が違う部分があるが、少なくとも自分の中では、国道3号植木バイパスは優先度が高い。これを解消しないと、ほかの道路を良くしたところで結局意味がない。今は整備の途中だが、これが完了すれば交通の流れが良くなる。西環状道路ができたことにより、花園と北部の間はかなり交通が良くなった。 国によると、熊本県は九州の中で一番渋滞箇所が多く、バイパスの効果も十分ではない。要望いただいたことは、優先度が高いと考えているので全力でやっていく。	都市建設局	土木総務課
	(2)熊本田原坂線(西里跨線橋)の改良要望 ・平成27年度から検討されてはいるが、車両の離合ができず、ガードレールの接触事故が頻発。早急に取り組んでもらいたい。	【市長】 跨線橋に関しては、既設の橋梁を利用する案と橋梁を架け替える案、バイパスする案の3つの案を検討しているところ。もう少し詳細な対応策の比較検討と併せて、道路整備プログラムの改定の中で整理を行いたい。	都市建設局	北部土木センター 道路課
	(3)西環状道路開通における道路安全標識の表示名の要望 ・自治協議会とフードパル熊本合同で、夏祭り・どんとや等を行っているが、県外の方から分かりにくいという声があるので、スムーズにすることができるように改善をお願いしたい。	【北部土木センター道路課・高規格道路建設推進課】(補足説明) 北部土木センターにおいて、今後要望者と協議していきたい。	都市建設局	北部土木センター 道路課・高規格 道路建設推進課
	(4)健康まちづくりについて ・平成27年度から健康ワークショップを行っている。スローガンとして「健康で明るい緑豊かな西里校区」を掲げ活動している。28年度から健康まちづくり委員会を発足し、ウォーキング部会・いきいきサロン部会などで活動している。29年度も継続して行っていきたい。保健子ども課の校区担当の保健師、北部まちづくりセンターの地域担当職員の方々にも来てもらっている。今後よろしくお願ひしたい。	【北区保健子ども課】【北部まちづくりセンター】(補足説明) 西里校区では、健康を切り口としたまちづくりを、地域住民の皆様と協働で進めている。現在、4つの部会を立ち上げワークショップを展開しているので、今後も地域担当職員・担当保健師等が連携して支援していく。	北区役所	保健子ども課 北部まちづくりセンター
2	(1)震災時の職員の対応について ・震災時、過労死ラインである月80時間以上の時間外労働者が前年度比で県職員が5倍、市職員が4倍ときている。大変だったと思う。 ・しかし、平成28年4月16日からの2、3日間については意見したい。TKUは緊急避難場所であり、物資が不足していたので、そのことを伝えるため北部の出張所に電話したら、そこは避難箇所ではないと言われた。まずは職員が緊急避難場所がどこかを把握すべきであり、その徹底をお願いしたい。 ・私は2年前にも「市長とドンドン語ろう！」に出席し、その際は坪井川遊水公園の街灯設置について要望した。同公園の駐車場は一時避難場所になっているにもかかわらず、ゲートに街灯がない。あとから担当課の職員が避雷針などについて説明に来たが、「避難場所になっている公園に常夜灯をつけるべきじゃないか」という意見については、「危機管理防災総室が担当です」と逃げられた。説明に来たなら、責任をもって最後まで説明するよう、職員に対する指導を市長をお願いしたい。 なお、この場での市長からの回答は不要である。	【危機管理防災総室】(補足説明) ・TKUプラザについては、(株)テレビ熊本と平成10年に災害協定を締結し、敷地と建物について指定緊急避難場所と指定しており、熊本地震直後から避難者数の報告を受けていた。 今後、職員及び住民の方々さらに周知徹底していく。 ・本市では、地域防災計画により風水害・地震等の災害の発生又は恐れがある場合に危険を回避するため、一時的に身を守るための場所として市内の公園や市民館、学校施設等259箇所を緊急避難場所(一時避難場所)に指定しており、市のホームページや携帯電話・スマートフォンを利用した「熊本市避難場所案内」サイトなどにより市民周知を図っている。 避難場所の照明については、現在のところ更なる照明灯の設置を行う計画はないが、ご指摘いただいた現地確認については、改めて調査させていただきます。(ご本人様へ連絡済み。) ・2年前の職員の対応に不備がありました事につきましては、大変申し訳ございませんでした。今後、このようなことがないように心がけてまいります。 (北部土木センター河川公園整備課 補足説明)	政策局 都市建設局	危機管理防災総室 北部土木センター 河川公園整備課

「ドンドン語ろう！ in北部」(平成29年5月30日 北部まちづくりセンター(北部公民館)大会議室) 意見交換内容 参加者:42名

No	ご意見	回答	局	担当課
2	(2)労働組合について ・市の職員は市政に熟知しているだろう。その市職が加入している労働組合は市民の方を見ている。市職の労働組合と市とが、市政問題について十分に話し合ってほしい。	【市長】 労働組合とは市としても話し合いを重ねており、職員の負担を減らせるような取り組みも行って いるところである。ナショナルミニマムで、保障すべき最低限度はどこなのか考えていかないとい けない。	総務局	人事課
	(3)徳王団地について ・徳王団地には下水道がないので整備してほしい。	【上下水道局】 ・西里校区の整備計画は平成31年度の整備完了を目標としている。27年度は硯川の工事を 行っており、30年度は硯川の残りと貢町を工事予定。 30年度以降に下硯川、硯川の残り、立福寺、太郎迫町、万楽寺を工事予定。 ・徳王団地の下水道整備について【上下水道局 追記】 徳王団地内の道路は私道となっており、私道内に公共下水道を公費で布設するためには申請 が必要となる。 このことについては、平成29年1月23日に公共下水道公費布設制度についての説明会を開 催し、申請代表者も決定し、事前調査依頼の提出を受けた。調査結果を申請代表者に通知を 行ったところ、地元の意向として市道認定を優先するとの事であり、市道に認定されれば、下水 道の整備を行う。	上下水道局	計画調整課
3	(1)下水道について ・去年地震で全壊になった方が家を建てるという事で、下水はいつくるのか、と市に聞いたら、 29年度の予定ですが地震のため遅れるかもしれませんと言われた。そこは合併浄化槽を設 置しなければならない場所であり、下水道のこないところには合併浄化槽に対する補助金が でるはずだが、たずねたら、下水道がくる場所には補助金はありません、との回答だった。他 の地区でも同じようなことが起こっているらしく、どういことが尋ねたい。	【市長】 補助金については、是非相談にきてほしい。まちづくりセンターでも対応していく。こういったこと は言っていかなければ変わらないと思うので、話し合いをしていきたいと思う。 ----- 【上下水道局】補足説明 ・合併浄化槽については、関係部局と連携し、対応していく。下水道事業計画区域内において は、合併浄化槽の補助金は原則出ないが、下水道事業計画区域外では合併浄化槽の補助金が 出ている。 【浄化対策課】補足説明 ・合併浄化槽設置についての補助金について 現行の補助制度は、下水道事業計画区域外などの個人住宅において、合併処理浄化槽を設 置する場合を対象としており、下水道事業計画区域内においては対象外となっている。 現行の補助制度の対象とならない下水道事業計画区域内については、現在、復興基金を活用 した合併処理浄化槽設置に対する補助制度を検討いただくよう、熊本県に要望を行っているこ ろである。	環境局	浄化対策課
4	(1)まちづくりの周知について ・私のように若い人は、自分の地域でどういったまちづくりをしているか、そもそもまちづくりが なんなのか知らない小中高生が多い。その打開策として、テレビやインターネットの活用と同 時に、回覧板の活用をしていけばどうか。そして、その回覧板を家族で見ると良いと思 う。それにより自分の地域のまちづくりをアピールしていけるのではないか。	【市長】 確かにまちづくりの取り組みを知らない人が多いと思う。地域の情報をどうやったら多くの人に 知っていただくかを区役所やまちづくりセンターでも考えている。特に若い人は市政日より回覧 板を見ない方が多いようだが、LINE(ライン)のようなSNSは見ているだろう。 現在、市はLINE(ライン)社と協定を結んだところであり、紙媒体や放送メディアでの発信と同時 に、SNSなど新しいメディアを活用することも考えている。 ただし、回覧板を持っていくと、お隣さんとコミュニケーションが生まれることもあるので、回覧板 を回す係を、積極的に家庭の中の若い人が受け持つなどして、地域のコミュニケーションを醸成 してもらいたい。	北区役所	総務企画課

「ドンドン語ろう！in北部」（平成29年5月30日 北部まちづくりセンター（北部公民館）大会議室）意見交換内容 参加者：42名

No	ご意見	回答	局	担当課
5	<p>(1)まちづくりに対する若者の意識について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・まちづくりに意識を持つ若いメンバーが少ない。勉強や部活で忙しくまちづくりまで意識が向かない部分があるので、仕方ないのかなとは思う。将来の地域の担い手になるので、学生のうちから意識をもってもらいたい。地域のベテランや行政の人に来てもらい、ワークショップを開催するなどして、地域の課題をみつけたり、意識を高めていってほしい。 	<p>【市長】</p> <p>学校の授業の中で地域まちづくりのワークショップなどを行い、地域の課題や魅力について語り合ったり、地域が大事だということを教えることは、自分が住む地域への理解が深まり、まちづくりへの意識が高まっていくことにつながるので、非常に良いことだと思う。</p> <p>それを教育のプログラムの中に組み込むことができないか、教育長とともに協力しあいながら進めているところだ。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・子どもたちも、町内の活動にまずは参加してみることが一番よいと思う。また、町内で、地域活動をしている若手の人に話しを聞いたり接点を持てば、まちづくりへの関心を継続できるのではないか。 <p>【教育委員会 指導課】(補足説明)</p> <p>現在、小学校を中心に、実際に地域に出かけて自分の住む町のよさを発見したり、地域の方を招いて学んだり、よりよい町になるための提案を発信したりなど、まちづくりにつながる学習を行っているところ。</p>	教育委員会	指導課
6	<p>(1)事実を知ることの大切さ。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・役所で大事なのは、事実を知ることである。役所の職員がミスをして謝罪をしているのをニュースでみるが、まず、なぜミスが起きたのかの分析が重要だ。事実に基づいて紆余曲折もしながら、より良い方向に進めていってほしい。 ・オンブズマン制度も形骸化しているのでなかろうか。申立ては1年以内とか、被害がなければ受け付けられないという制度では不十分である。もっと市民の声をきくようにすべきだ。 	<p>【市長】</p> <p>まずは事実を知ることが重要であるとお話であるかと思う。</p> <p>行政には、嫌なことから眼をそらしたい、面倒なことには関わりたくないと思う傾向もあるのかもしれない。</p> <p>市は、さまざまな批判を受ける。しかし、そこにどんな問題があるのか、何ができなかったから不満がたまったのか、事実と向き合って分析しなくてはならない。また、その「できなかった」という事実を認める事が重要。職員全体でそういった意識を持っていかなければならない。</p> <p>本市は、H27年5月に「事件・事故、業務上のミス等の公表基準」を制定し、事務処理ミスの公表を始めた。ミスを無かった事にすると、いつまでも改善しないので、みんなで共有し、なくしていく。ミスを憎んで人を憎まずの精神で、まずは正直にミスを報告する。それを関係部署で共有し、改善策を講じることでミスを起こさない体制を作る。それにより自ずと良い行政ができていくと思う。</p> <p>効果も現れている。</p> <p>まず、事実を知る、事実を認め受け入れる、そして改善していく。地道な作業を続けていきたい。</p> <p>-----</p> <p>【オンブズマン事務局】補足説明</p> <p>オンブズマン制度は、条例に基づき、自らの利害に関係のある原則1年以内の事案を調査の対象としている。事実確認等を含め、十分な調査を行いオンブズマンが公正に判断するが、利害関係のない事案や1年以上前の事案は、十分な調査が困難で、オンブズマンの公正な判断も困難な状況となる。</p>	<p>政策局</p> <p>総務局</p> <p>市民局</p>	<p>広報課</p> <p>総務課 コンプライアンス 推進室</p> <p>オンブズマン事務局</p>
7	<p>(1)イノシシについて</p> <ul style="list-style-type: none"> ・イノシシの存在により、農作を辞め、放棄地になる箇所が増えている。これの対策と、熊本市独特のイノシシ対処法を考えてほしい。 	<p>【市長】</p> <p>イノシシの農作物被害については、農水局で対策を検討している。環境部局とも連携して取組みを進めている。議会でもこの課題について提案がなされており、被害を拡大させないための取組みを強化していきたい。</p>	農水局	北農業振興課

「ドンドン語ろう！in北部」（平成29年5月30日 北部まちづくりセンター（北部公民館）大会議室）意見交換内容 参加者：42名

No	ご意見	回答	局	担当課
8	<p>(1)自治会について</p> <p>・いろんなまちづくりを行ってきたが、末端の自治会だと中々うまくいかない。自治会長もやりたがる人がいない。各町内に地域担当職員が下りてきて、後継者が育ちやすいようアドバイスしてほしい。新しくアパートに入居する方はあまり自治会に加入してくれない。転入者に対し、出来れば自治会加入を勧めてほしい。</p>	<p>【市長】</p> <p>自治会長は、負担感が多いことから遠慮される人が多い。一方で、まちづくりにやりがいを持ってされている方もいる。地域で心地よく生きていくために共助の精神を持ち、地域活動に参加しようとする事が大事。しかし、今まではそのきっかけがなかった。校区の中には町内があり、それをまちづくりセンターや地域担当職員と一緒に作っていく必要がある。</p> <p>【北部まちづくりセンター 地域担当職員】</p> <p>・町内あつての校区なので、町内自治会にも関わっていく。自治会で何が大変かなどの話し合いを重ね、解決につながればと思う。</p> <p>【市長】</p> <p>自治会の加入に関して、新しいマンション等ができれば、積極的に働きかけたり、管理組合の人と話をしたり、どうしたら加入してくれるか検討している。後継者が育ちやすいような環境作りを進め、その地域の担い手を育てる。</p>	北区役所	北部まちづくりセンター
9	<p>(1)地域拠点について</p> <p>・行政の仕事は住民のまちと暮らしを守る事であるが、北部地域の拠点である北部総合出張所がなぜ廃止されたか納得できない。区長の姿が見えないが、どういう風に考えているのか。市長は地域からの意見をどのように受け止め、この方策を進めたのか。サービスコーナーが設置されたが、今までより機能が足りていない。車を数年後には手放さなければならないので、区役所が遠くなり、保健福祉関係の手続きが身の回りで解決できるような状況がなくなってしまった。手続き等の問題が総合的に解決できなくなったことが課題である。第2次熊本市都市マスタープランの中では、北部は地域の拠点になっている。地域として重要な場所にそういった機能がなくなるのはどうか。</p>	<p>【市長】</p> <p>北部総合出張所の廃止については、当然ご意見があると思う。今までできていた事ができなくなる問題もあるが、逆にまちづくりセンターに職員を配置する事ができた。</p> <p>ただ、この状態がベストではないとご理解いただきたい。これから色々な課題が見えてくると思うが、拠点が無い事で困ったことは何かを分析していく。例えば、役所でするような手続等をまちづくりセンターで補ったり、こちらから出かけていって書類に記入してもらい、それを預かるといった形もできるかもしれない。そういった事を考え、まちづくりセンター設置に至った。</p> <p>どンドンこの場所を使ってまちづくりの機能を高めていきたい。行政の機構も変わっていくので、まちづくりセンターのスタッフ達とカバーしあいながら、何が良くなって何がだめになったのかをきちんと見つめていきたい。そして、具体的にこの部分がマイナスであると、地域担当職員に話してもらって、それを持ち帰り改善できるようにしていく。</p> <p>もう決まってしまったからしょうがない、ではなく、こういう課題がまだ残っていると、声をあげていただきたい。</p>	市民局	地域政策課
10	<p>(1)高齢者への配慮について</p> <p>・高齢者へのリスペクトが総合計画の中でも反映されてない。何十年も税金を払ってきた年配者にどう還元していくか。弱者に対しての思いやりを持ってほしい。80%の人がサービス業務で足りるとしても、残りの20%の弱者に対する思いやりが政策に反映されているか。ゆうゆうパスを本数は少なくてもいいので無料で北区役所まで走らせるなどの、細かい点で具体的な配慮をしてほしい。</p>	<p>【市長】</p> <p>高齢者をないがしろにしたりということは全く無い。むしろ年配の方々にもっと活躍していただいて、希望を持って老後を迎えてほしい。やはり、世代間の対立はよくないと思うので、社会の構造の中で解決していかなければならない。弱者に対する具体的な配慮のため細かなニーズの把握が必要。</p>	健康福祉局	高齢介護福祉課
	<p>(2)防災手帳について</p> <p>・防災手帳（緑色）が各戸に配られたが、ただ配っただけである。どう使うかの説明会等があつてしかるべきでは。</p>	<p>【市長】</p> <p>熊本市の地域防災計画を翌日の5月31日に熊本市防災会議で決定する予定。これからやっとなければならないのは、具体的にこの避難場所がこうです、こういう風に運営していきましよう、地域での活動を活性化させる事。校区単位でのモデル地区を作り、災害訓練を行った。県とも連携して防災対策をやっていきたい。</p>	政策局	危機管理防災総室